

BI 研究所の兼任研究員、経営学部・奥野明子教授の新刊本が、公刊されました。

●ミネルヴァ書房から『利他の構造』（日置弘一郎、奥野明子、寺本香苗他著）（稲盛アカデミー叢書2）が出版されました。



本書では、稲盛和夫氏の経営哲学の根幹をなす「利他」を多面的に捉え、ワーキング・マザーに対する利他的行動を促すマネジメントについて考察しています。子供の病気や家庭の都合等、ワーキング・マザーが働き続けるためには同僚達の利他的行動が不可欠です。しかし、自発的な利他的行動をマネジメントが引き出すことは難しいです。マネジメントができるのは、それが生まれる場をつくることではないだろうかと考えます。

詳細は[こちら](#)